



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2025年11月7日

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5268 URL <https://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 狩野 堅太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大館 一夫

TEL 03-3542-1206

半期報告書提出予定日 2025年11月7日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,969	9.7	70	79.8	119	70.4	80	71.0
2025年3月期中間期	3,288	0.9	348	45.4	403	36.7	279	21.9

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	6.15	—
2025年3月期中間期	21.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	18,281	14,042	76.8
2025年3月期	15,907	12,126	76.2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 14,042百万円 2025年3月期 12,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	17.00	17.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期の期末配当につきましては、1株当たり普通配当14円に、特別配当3円を増配して17円としております。2026年3月期の配当予想の修正については、本日(2025年11月7日)公表しました「配当予想の修正(増配)」に関するお知らせをご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	3.9	560	0.8	630	3.1	420	2.0	31.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	13,233,000 株	2025年3月期	13,233,000 株
2026年3月期中間期	61,652 株	2025年3月期	75,222 株
2026年3月期中間期	13,163,602 株	2025年3月期中間期	13,150,278 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表現在において当社が入手可能な情報に基づき判断したものであり、内在する様々な不確定要素により、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、米国の通商政策、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響の懸念などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、顧客の要望に柔軟に対応して受注に繋げる設計折込活動、また、労働職不足や長時間労働の課題に対応する働き方改革において、工事期間の短縮に資するプレキャスト化の提案に、CIM（3D空間モデル、3Dプリンターモデル等のデジタル技術）を積極的に活用して、販売・設計部門が一体となった活動を行い、変化に機敏に対応して顧客との緊密な関係を保ちながら受注につなげております。

これらの結果、当中間会計期間における売上高は29億6千9百万円と前年同期比9.7%の減収となり、損益面では、営業利益は7千万円と前年同期比79.8%の減益、経常利益は1億1千9百万円と前年同期比70.4%の減益となりました。

これに、特別利益として投資有価証券売却益1百万円、固定資産除却損3百万円を計上し、税金費用等3千6百万円を差し引きした結果、当中間純利益は8千万円と前年同期比71.0%の減益となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

（コンクリート関連事業）

コンクリート関連事業は、売上高は29億4千7百万円（前年同期比9.8%減収）となり、セグメント利益は8千8百万円（前年度同期比75.6%減収）となりました。

① コンクリート二次製品部門は、売上高は17億4千6百万円（前年同期比22.5%減収）となりました。

② 工事部門は、売上高は1億5千7百万円（前期比23.2%減収）となりました。

③ その他の部門は、工事用資材及びコンクリート製品に装着する資材等の仕入及び販売で、売上高は10億4千3百万円（前年同期比29.0%増収）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は、売上高は2千1百万円（前年同期比0.6%減収）となり、セグメント利益は8百万円（前年同期比13.2%減益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における総資産は182億8千1百万円（前事業年度末に比べ23億7千3百万円増加）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ5億9百万円減少し、84億9千5百万円となり、固定資産は前事業年度末に比べ28億8千3百万円増加して97億8千3百万円になりました。流動資産の主な減少は、売上債権の減少7億8千8百万円となっております。固定資産の主な増加は、関係会社株式の時価評価による増加27億8千8百万円であります。

（負債）

当中間会計期間末における負債は42億3千8百万円（前事業年度末に比べ4億5千7百万円増加）となりました。流動負債は前事業年度末に比べ5億1千7百万円減少し、18億7千6百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ9億7千4百万円増加し、23億6千2百万円となりました。流動負債の主な減少は、仕入債務の減少3億4千5百万円であります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は140億4千2百万円（前事業年度末に比べ19億1千6百万円増加）となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金の増加20億5千万円となっております。その結果、自己資本比率は76.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前事業年度末に比べ、5千5百万円増加（前年同中間会計期間は1億9千4百万円の減少）し、当中間期末残高は28億4千9百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金収支は、税引前中間純利益1億1千7千百万円、減価償却費9千2百万円、売上債権の減少7億8千8百万円等の資金の増加が、仕入債務の減少3億6千5百万円等の資金の減少を上回ったことにより、資金の増加は1億3千7百万円（前年同中間会計期間は3億1千6百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金収支は、有形固定資産の取得による支出1億1百万円の資金の減少を、投資有価証券の売却による収入2億4千7百万円等の資金の増加が上回ったことにより、資金の増加は1億3千1百万円（前年同中間会計期間は2億4千1百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金収支は、配当金の支払額2億1千2百万円等により、資金の減少は2億1千3百万円（前年同中間会計期間は2億6千9百万円の減少）となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日付で別途公表しております「2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表しております予想に変更はありません。

また、配当の状況につきましては、本日付で別途公表しております「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,279,701	5,334,785
受取手形及び売掛金	1,559,042	1,022,672
電子記録債権	983,588	731,107
製品	1,062,917	1,217,456
原材料及び貯蔵品	76,293	84,256
その他	44,087	105,611
流動資産合計	9,005,629	8,495,889
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	207,810	202,687
機械及び装置(純額)	180,328	181,616
土地	1,677,601	1,677,601
その他(純額)	327,110	429,519
有形固定資産合計	2,392,850	2,491,424
無形固定資産	71,834	87,965
投資その他の資産		
投資有価証券	1,201,738	1,163,665
関係会社株式	2,938,294	5,726,810
その他	299,765	318,577
貸倒引当金	△5,255	△5,255
投資その他の資産合計	4,434,543	7,203,798
固定資産合計	6,899,228	9,783,189
繰延資産		
社債発行費	3,095	2,321
繰延資産合計	3,095	2,321
資産合計	15,907,953	18,281,400
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	968,683	774,664
電子記録債務	788,158	636,973
短期借入金	170,000	170,000
未払法人税等	123,818	9,404
賞与引当金	145,737	74,260
その他	197,493	211,387
流動負債合計	2,393,891	1,876,690
固定負債		
社債	500,000	500,000
退職給付引当金	66,727	66,826
その他	820,952	1,795,182
固定負債合計	1,387,679	2,362,009
負債合計	3,781,571	4,238,699

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	821,373	822,621
利益剰余金	8,408,322	8,265,567
自己株式	△39,732	△32,573
株主資本合計	10,394,863	10,260,515
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,731,518	3,782,185
評価・換算差額等合計	1,731,518	3,782,185
純資産合計	12,126,382	14,042,700
負債純資産合計	15,907,953	18,281,400

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,288,788	2,969,371
売上原価	2,483,578	2,444,335
売上総利益	805,210	525,036
販売費及び一般管理費	456,811	454,723
営業利益	348,399	70,312
営業外収益		
受取利息	45	1,259
受取配当金	58,986	55,059
その他	1,028	3,573
営業外収益合計	60,060	59,892
営業外費用		
支払利息	1,602	3,207
支払保証料	1,002	1,002
社債発行費償却	774	774
その他	1,844	6,020
営業外費用合計	5,224	11,004
経常利益	403,235	119,200
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,722
特別利益合計	—	1,722
特別損失		
固定資産除却損	3,959	3,564
特別損失合計	3,959	3,564
税引前中間純利益	399,275	117,358
法人税、住民税及び事業税	103,706	7,426
法人税等調整額	16,517	29,005
法人税等合計	120,224	36,431
中間純利益	279,051	80,927

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	399,275	117,358
減価償却費	105,269	92,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,581	△15,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△129	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,203	△71,477
受取利息及び受取配当金	△59,031	△56,319
支払利息及び支払保証料	2,605	4,209
社債発行費償却	774	774
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,722
固定資産除却損	3,959	3,564
その他の営業外損益(△は益)	-	126
売上債権の増減額(△は増加)	557,794	788,851
棚卸資産の増減額(△は増加)	△66,997	△162,502
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,708	△43,460
仕入債務の増減額(△は減少)	△505,890	△365,295
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,417	△62,003
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,765	△39,325
小計	322,950	189,896
利息及び配当金の受取額	49,990	47,693
利息及び保証料の支払額	△2,608	△4,210
法人税等の支払額	△53,921	△95,928
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,412	137,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,485,000	△2,465,000
定期預金の払戻による収入	2,485,000	2,465,000
有形固定資産の取得による支出	△142,305	△101,064
無形固定資産の取得による支出	-	△16,810
投資有価証券の取得による支出	△99,870	△1,947
投資有価証券の売却による収入	-	247,774
その他	501	3,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,673	131,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,066	△1,156
短期借入金の返済による支出	△30,000	-
配当金の支払額	△236,419	△212,264
自己株式の取得による支出	-	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,485	△213,445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,746	55,084
現金及び現金同等物の期首残高	2,588,332	2,794,701
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,393,586	2,849,785

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コンクリート関連事業	不動産事業	
売上高			
一時点で移転される財	3,267,281	—	3,267,281
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,267,281	—	3,267,281
その他の収益	—	21,506	21,506
外部顧客への売上高	3,267,281	21,506	3,288,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,267,281	21,506	3,288,788
セグメント利益	363,784	10,100	373,885

(注) 不動産事業における「その他の収益」は、リース取引による収益であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,885
全社費用(注)	△25,485
中間損益計算書の営業利益	348,399

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	コンクリート関連事業	不動産事業	
売上高			
一時点で移転される財	2,947,987	—	2,947,987
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,947,987	—	2,947,987
その他の収益	—	21,384	21,384
外部顧客への売上高	2,947,987	21,384	2,969,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,947,987	21,384	2,969,371
セグメント利益	88,761	8,763	97,524

(注) 不動産事業における「その他の収益」は、リース取引による収益であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,524
全社費用(注)	△27,212
中間損益計算書の営業利益	70,312

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。